

「バビロンは倒れた」

黙示録 14 : 6-12 読む

「最も重要なテーマは、第一、第二天使の使命を含めての、第三天使の使命である。すべての人は、これらの使命に含まれる真理を理解して、それを日常生活に表さなければならない。なぜなら、これは救いに不可欠なことだからである。これらの大いなる真理を理解できるよう、私たちは熱心に、祈りながら研究しなければならない」 EV196

三重の使命は：

- 地球最後の警告使命—三天使の使命を学んでいる。「**恐怖すべき威嚇をもった恐るべき警告の使命**」。しかし、最後の愛の神の憐みの訴えである。
永遠の福音である。なぜなら、信仰の従順(服従)に至らせるからである。ローマ 1:5、16:25。
1. 裁きの時は来た。だから、神を恐れ、神に栄光を帰し、創造主のみを礼拝せよ。
 2. バビロンは倒れた。だからバビロンから分離せよ。
 3. 獣と獣の像と獣の刻印を受ける者に対する恐るべき刑罰が来る。だから、刑罰から逃れるために神の印を受けよ。

この三天使の使命は、分離と一致の使命とも言える。

黙示録 18:4 「わたしの民よ。彼女から離れ去って(出てきなさい)、その罪にあずからないようにし、その災害に巻き込まれないようにせよ」

黙示録 14:12 「ここに、神の戒めを守り、イエスを信じる信仰を持ちつづける聖徒の忍耐がある」

イエスは、ヨハネ 17 章に、世から真理によって聖別され、一致するように祈られた。

使徒パウロは言う：

「キリストとベリアルとなんの調和があるか。信仰と不信仰となんの関係があるか。神の宮と偶像となんの一一致があるか。わたしたちは、生ける神の宮である。神がこう仰せになっている、『わたしは彼らの間に住み、かつ出入りをするであろう。そして、わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となるであろう』。だから、「彼らの間から出て行き、彼らと分離せよ、と主は言われる。そして、汚れたものに触れてはならない。触れなければ、わたしはあなたがたを受けいれよう。そしてわたしは、あなたがたの父となり、あなたがたは、わたしのむすこ、むすめとなるであろう。全能の主が、こう言われる」。2 コリント 6:15-18。

今日は、第二天使の使命について学ぶ。

「また、ほかの第二の御使が、続いてきて言った、『倒れた、大いなるバビロンは倒れた。その不品行に対する激しい怒りのぶどう酒を、あらゆる国民に飲ませた者』」。

第二天使の使命も「あらゆる国民、部族、国語、民族」全ての人知らなければならないことである。何を？バビロンは倒れた事実を。また伝えなければならない使命である。伝えるためには、バビロンとは何か？バビロンは倒れたとは何のことか？不品行とは何か？激しい怒りのぶどう酒とは何か？全世界の人々に飲ませるとはどういうことか？を我々自ら知らなければならない。

バビロンとは何か？

バベルからバビロンとなった。「混乱」の意。バビロンは背教、傲慢、混乱、人間自らの救いの象徴。古代エルサレムとバビロンは対照的。サレムは「平和」バビロンは「混乱」の意。黙示録には、二つの霊的王国として表わされている。

黙示録 16:17-21 には、全世界を支配するバビロンの実際の滅亡は、再臨直前の第七の災害の時に起こる。その前に「道徳的倒壊」が起こる。黙示録 14:8, 18:2 のバビロンは倒れたとは、道徳的倒壊のこと。

大争闘下 92 「道徳的墮落」「教会と世俗との結合」

黙示録の大いなる都バビロンは三つから成り立っていることが分かる：

黙示録 16:19 「大いなる都は三つに裂かれ、諸国民の町々は倒れた。神は大いなるバビロンを思い起し、これに神の激しい怒りのぶどう酒の杯を与えられた」

黙示録 16:13 「また見ると、**龍**の口から、**獣**の口から、**にせ預言者**の口から、かえるのような三つの汚れた霊が出てきた」

龍は、12章に出てくる。サタン、サタニズム、心霊術、オカルト、

獣は、13章に出てくる。

偽預言者も、13章に出てくる。11節以降、獣の像である。

黙示録 16:14 「これらは、しるしを行う悪霊の霊であって、全世界の王たちのところに行き、彼らを召集したが、それは、全能なる神の大いなる日に、戦いをするためであった」

三つの勢力の三位一体は、三天使の使命を持つ三位一体の神の民に戦いを挑む最後の勢力。

この結合の例を見よう：

・エリヤの場合：三重の結合勢力が迫害。**淫婦イゼベル**と、王アハブと、偽預言者。

1列王 18章。

・バプテスマのヨハネの場合：**淫婦ヘロデヤ**と王ヘロデとサロメ

・同じシナリオが黙示録 17章、18章に。

黙示録 17:1 **大淫婦 (バビロンの母)**と王たちと娘たち 2節、5節、18:3

最も危険なのは？ 大淫婦。イゼベルがアハブ王と偽預言者たちをそそのかした。ヘロデヤがヘロデ王とサロメをそそのかしたのであった。

最後の時代に危険な役者は、大淫婦、ローマ・カトリック教会！

教会は女で象徴されている。(イザヤ 51:16、エレミヤ 6:2、エペソ 5:27、2コリント 11:2)。黙示録に純潔な女と大淫婦が出てくる。

「(黙示録一四ノ八)。『バビロン』という言葉は、「バベル」からきたもので、混乱を意味している。この言葉は、聖書では、種々の形をとった偽りの、あるいは背教的な宗教を指すのに用いられている。黙示録一七章には、バビロンは女であるといわれている。女は、聖書では教会の象徴として用いられている。純潔な女は、純潔な教会であり、汚れた女は、背教した教会を表わしている」大争闘下 82。

「バビロンが倒れたことを宣言する黙示録 14章のメッセージは、かつては純潔であったが腐敗するに至った宗教団体に適用されねばならない。このメッセージは審判の警告に続くものであるから、最後の時代に発せられるものでなければならない。したがって、これは、ローマ・カトリック教会だけに当てはまるものではない。なぜならば、この教会は、幾世紀にわたって倒れた状態にあったからである」大争闘下 84。

ローマは「大いなるバビロン、淫婦どもの母」、娘たちは、カトリックから生まれたプロテスタント諸教会である。

なぜバビロンは倒れた、プロテスタント教会は倒れたと言われているか？

第一天使の使命を拒んだ結果：第一天使の使命に現代の真理がすべて含まれている：

- ・キリストの字義通りの再臨
- ・神を恐れ＝神の戒めを守ること(伝道 12:13)
- ・神に栄光を帰す＝健康改革の使命(1コリント 10:31)
- ・人の性質—肉体、知性、霊性の密接な関係
- ・裁きの時は来た＝調査審判、聖所の清め、最後のあがない
- ・霊魂非不滅—死んだらすぐ報いを受けるのではない。再臨の時に報いを受けるのである。黙示録 22:12。

- ・ 6 日間創造
- ・ 7 日目の安息日

プロテスタント諸教会はバビロンとなった。光を拒んだので暗黒に陥った。バビロンは倒れたと宣言された。

「プロテスタント教会の多くは、ローマの例にならって『地の王たち』と不法な関係を結んでいる。国教会は俗権と提携することによって。また他の教派は、世俗の歓心を求めることによって。そこで、この「バビロン」（混乱）という言葉は、それぞれ自分たちの教義は聖書に基づいたものであるといいながら、ほとんど無数の教派に分かれ、互いに衝突する信条と理論をもったこれらの諸団体に、まことによく当てはまるのである。諸教会は、ローマから分離していながら、世俗との罪深い結合のほかにも、ローマの他の特質をあらわしている。ローマ・カトリックの一著書に、次のようにある。『もしローマの教会が、諸聖人に関して偶像礼拝の罪があるとすれば、その娘である英国国教会も同罪である。英国では、キリストにささげられた教会一つに対して、マリヤにささげられた教会が十ある』」。大争闘下 92。

「バビロンは『淫婦どもの母』であると言われている。その娘たちとは、彼女の教義と言い伝えを重んじてその例になら、世との不法な同盟を結ぶために、真理と神の是認とを犠牲にする諸教会の象徴でなければならない。バビロンが倒れたことを宣言する黙示録一四章のメッセージは、かつては純潔であったが腐敗するに至った宗教団体に適用されねばならない。このメッセージは審判の警告に続くものであるから、最後の時代に発せられるものでなければならない。したがって、これは、ローマ・カトリック教会だけに当てはまるものではない。なぜならば、この教会は、幾世紀にわたって倒れた状態にあったからである。さらに、黙示録 18 章では、神の民はバビロンから離れ去れと呼びかけられている。この聖句によれば、多くの神の民がまだバビロンにいないなければならない。今、キリストに従うものの大部分は、どの宗教団体に属しているであろうか。言うまでもなく、プロテスタント各派の諸教会である」大争闘下 84。

注意すべきこと：神の民は今、多くバビロンにいる。いつ彼らは出てくるであろうか?もちろんその前にも出てくるだろうが、黙示録 18 章の「わが民よ、出てきなさい」とう大いなる叫びがなされる時には、多くの者が出てくる。しかし、現在の神の民から多くの者が出ていくのである：

「黙示録 18 章は、教会が、黙示録 14:6-12 の三重の使命を拒否した結果、第二天使の使命が預言した状態に完全 に陥り、そして、まだバビロンにいる神の民が、その中から出るようにと求められる時を示している。これは、世界に発せられる最後の使命である。そしてそれは、その働きを成し遂げる。『真理を信じないで不義を喜んでいた』人々は、偽りを信じ、迷わず力に陥るままにされる（テサロニケ第二・二ノ一）。そのとき真理の光は、それを受けようと心を開くすべての人の上に輝き、バビロンに残っている主の子供たちはみな、『わたしの民よ。彼女から離れ去』れという招きの声に耳を傾けるのである（黙示録一八ノ四）」大争闘下 93。

セブンスデー・アドベンチストはバビロンではない。組織としては「女の残りの子ら、すなわち神の戒めを守り、イエスの証を持っている」教会である。しかし、個人的に「神の戒めを守り、イエスの信仰を守る聖徒」でなければ、震われてバビロンの宗教大連合に合流し、獣の刻印を受けることになる。

大いなる叫びの時には、セブンスデー・アドベンチスト教会の中から多くの者が震い出されることが警告されている：

「あらしが 迫って来るとき、第三天使の使命を信じると公言していながら、真理に従うことによって清められていなかった多くの者が、その信仰を棄てて反対の側に加わる。彼らは、世俗

と結合し、その精神を抱くことによって、ほとんど同じ見方で物事を見るようになっている。そして、試練が来ると、彼らはすぐに、安易で一般受けのする側を選ぶのである。かつては真理を喜んだところの、才能ある雄弁な人々は、その力を用いて他の人々を欺き迷わす。彼らは、以前の兄弟たちにとって、最も苦い敵となる。安息日遵守者が法廷に呼び出されて、信仰について答えるときに、これらの背教者たちは、サタンのも最も強力な手先となって、彼らの中傷し非難する。そして、偽りの報告やあてこすりによって、彼らに対する権力者たちの怒りをかき立てる」大争闘下 378。

バビロンの本質は自我である。第二天使の使命は自我からの解放である。

・ルシファー

イザヤ 14:13 「あなたはさきに心のうちに言った、『わたしは天にのぼり、わたしの王座を高く神の星の上におき、北の果なる集会の山に座し、雲のいただきにのぼり、(わたし-英文)いと高き者のようになろう』。しかしあなたは陰府に落され、穴の奥底に入れられる」

ルカ 4:11 「おおよそ、自分を高くする者は低くされ、自分を低くする者は高くされるであろう」

・バビロン

ダニエル 4:30 王は自ら言った、「この大いなるバビロンは、わたしの大いなる力をもって(わたし-英文)建てた王城であって、わが威光を輝かすものではないか」。

その言葉がなお王の口にあるうちに、天から声がくだって言った、「ネブカデネザル王よ、あなたに告げる。国はあなたを離れ去った。

・わたし(自分)の無能

ローマ 7:14-25 「わたし」という言葉が何回使われているか数えて見よ。日本語では 18 回? 英文では 33 回。

・契約の虹 116 水野源三

1. み神のうちに 生かされているのに
自分一人で生きてると
思いつづける心を
砕いて 砕いて 砕き給え
2. み神に深く愛されているのに
共に生きる人を真実に
愛し得ない心を
砕いて 砕いて 砕き給え
3. み神に罪を赦されているのに
他人の小さなあやまちさえも
赦し得ない心を
砕いて 砕いて 砕き給え